

令和8年度
シラバス

教科・科目	保健体育・保健	単位数	1
-------	---------	-----	---

学年・クラス	2学年（ 必修 ・選択）	担当者	金澤 駿吾
使用教科書	大修館 現代高等保健体育		
使用副教材	なし		

目 標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につける。

授業の内容・進め方

授業の内容：健康安全について知識・理解を深め、毎時間のレポートをまとめやグループワークでの意見を交換することなどを通して健康課題について考えていきます。
 考查：前期末・後期末考查の2回実施

評価規準（観点別達成目標・評価項目）

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	定期考查（年2回：前・後期末考查）	◎	○	△
	発言や提出など授業への参加の様子（適宜）	◎	◎	○
	毎時レポート	◎	◎	◎

- ・ **観点別評価** 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。
 A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する
- ・ **評価・評定** 観点別評価から総合的に成績（評価・評定）を決定する。

指導計画及び中単元別評価基準

学期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4	生涯を通じる健康	ライフステージと健康	・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。	・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。
	5		思春期と健康			
	6		性意識と性行動の選択			
	6		妊娠・出産と健康			
	6		避妊法と人工妊娠中絶			
	6		結婚生活と健康			
	7		中高年期と健康			
	8		働くことと健康			
	8		労働災害と健康			
9		健康的な職業生活				
前期期末考査						

学期	月	単元	学習内容	評価規準				
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
後期	10	健康を支える環境づくり	大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染と健康	<p>・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。</p>	<p>・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p>	<p>・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>		
			環境と健康にかかわる対策					
			ごみの処理と上下水道の整備					
			11				食品の安全性	<p>・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。</p>
			食品衛生にかかわる活動					
			12				保健サービスとその活用	<p>・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。</p>
			医療サービスとその活用					
			医薬品の制度とその活用					
			1				さまざまな保健活動や社会的対策	<p>・我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解している。</p>
			2				健康に関する環境づくりと社会参加	<p>・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。</p>
3								
後期期末考査								